

第70回 四国高等学校ラグビーフットボール選手権大会

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

<大会の開催条件>

次の条件を十分に検討し、大会の開催の可否を決定する。

- (1) 緊急事態宣言が解除されている。
- (2) 徳島県からの自粛要請、教育委員会等からの休校措置、部活動制限の枠組みの中で実施する。
- (3) 日本ラグビー協会の感染防止対策ガイドラインにもとづく対策を講じる。
- (4) 徳島県内の感染状況を十分に考慮する。
- (5) 無観客試合とする事を原則とする。

【基本原則】

- 1 いわゆる3つの密（密閉・密集・密接）を徹底的に回避する。
- 2 移動前の手洗い・消毒・検温を徹底する。
- 3 試合と直接関係ない人の来場を避ける。
- 4 各チームは「新型コロナウイルス問題担当者」を定め、WRの「COVID-19Courses」受講を条件とする。

【関係者のカテゴリー】

- 1 大会運営関係者（協会役員、マッチオフィシャル、マッチドクター、補助員、警備員等）
- 2 学校関係者
- 3 メディア関係者（報道・写真業者）

【共通】

試合に関わる全ての関係者は、試合日の2週間前から健康観察を行う。

【大会運営関係者の対策 =事前= 】

- 1 すべての試合は、原則無観客試合とする。
- 2 スタンドへの入場は、徳島市球技場の利用条件の範囲内において、上記 1、2、3 の関係者に限り認める。なお、入場を認める範囲は、徳島県新型コロナウイルス対策の【とくしまアラート】の段階に応じて決定するものとする。
- 3 メディア関係者については、事前に取材申請を行った者のみ競技場施設内への入場及び取材を認める。なお、取材場所については、各競技場の大会運営役員の指示に従うこと。
- 4 開会式は感染リスクを考慮して、実施しない。

【大会運営関係者の対策 =試合会場= 】

「手洗いの励行」、「咳エチケット」、「マスク持参と必要時（受付時や更衣等の運動を行っていないときや会話をする際など）の着用」、「室内の換気」を徹底する。

<検温>

試合会場に入場する全ての方は、入場の際、必ず検温を実施、記録し、37.5℃以上の場合は入場できないこととする。また、発熱がなくても息苦しさ（呼吸困難）や強いだるさ（倦怠感）等がある場合も同様とする。

<対策>

- 1 消毒液を競技場入口、トイレに設置し、定期的に補充する。
- 2 学校関係者の観戦は、スタンドで行い、一人一人の間隔を2 m以上とって観戦するように指導する。また、大声での応援はせず、拍手での応援を基本とする。
- 3 選手の更衣・テーピングは指定された場所で行う。試合終了後、使用した場所の清掃・消毒を行う。消毒箇所は、ベンチ、手すりなど不特定多数の者が接触する場所とする。
- 4 競技場内諸室のドアノブなど不特定多数の者が接触する場所は定期的な消毒につとめる。

【大会運営関係者の対策 =試合= 】

- 1 原則握手は行わないこととする。
- 2 ボールボーイ、チームマネージャー、ドクター、SAはマスク・ゴム手袋を使用し運営を行う。

【学校関係者の対策】

以下の対策等については原則として出場チーム（学校）が責任をもってこれを行う事とする。

- 1 チーム責任者は、大会本部が定めた書類を試合会場到着時に本部へ提出する。
- 2 検温の結果、37.5℃以上の者は、大会会場への入場を認めない。体調が良くない場合も同様とする（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。
- 3 競技場への移動の際はマスクを着用する。試合会場には消毒液を設置しているので、こまめに活用し、感染予防につとめる。
- 4 熱中症にも十分に配慮することとし、水分補給等を行うが、各人のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回し等を行わないようにする。また、マスクを常時着用すると体力消耗にもつながるので、選手はウォーミングアップ前から試合終了までは着用しなくてよいが、それ以外は着用すること。
- 5 飲食については、周囲の人とは対面を避け、会話は控えめにする。
- 6 試合前の練習等でも3つの密を避けるように、十分な間隔をとる工夫をすること。
- 7 円陣を組むなどは密集にならないように配慮すること。
- 8 試合に出場していない指導者、選手などはマスクを着用する。
- 9 試合中はベンチでの大きな声を出しての応援は禁止する。
- 10 感染症予防に係る消毒作業に使用する消毒液、ゴム手袋、ゴミ袋、ペーパータオルについては、高校専門部で予め準備する。
- 11 競技場から退場した後は、基本原則1に従い、その場に滞留することなく、速やかに解散する。

【メディア関係者への対応】

下記対策を遵守できない際はその時点で取材許可を取り消し、競技場より退場してもらおう。

- 1 来場したメディア関係者は競技場入口で必ず検温し、37.5℃以上の場合は、入場を断る。
- 2 受付で記者証（腕章可）による所属確認後、名刺を提出し、入場すること。
※取材を認めるペン関係の記者は【大会運営関係者の対策＝事前＝】3に限る。
- 3 競技場施設内では大会運営関係者の指示に従って取材を行う。
- 4 試合終了後の取材はグラウンドを基本とし、チーム関係者とメディア関係者は2 m以上離れることとする。その際、時間を限定し、最小限で取材を終えることとする。

【チーム関係者から感染者等が発生したときの対応】

1 感染者が発生した場合の対応

感染者は保健所が指定した自宅待機期間を経過するまで試合への参加は認めない。

試合から6日前までの間に感染者が複数（2名以上）確認された場合、そのチームの試合への参加は認めない。

感染者が1名の場合、その他全てのチーム関係者は試合前日に抗原検査を行い、感染者がいなければ試合への参加を認める。

試合6日前以前に感染が確認された場合、その他全てのチーム関係者の健康観察をおこない、体調不良がない者の参加を認める。

敗退したチームから感染者が出た場合、勝ち上がったチームは抗原検査を行い、感染者がいなければ試合への参加を認める。

2 濃厚接触者となった場合の対応

該当者はPCR検査を受け、保健所が指定した自宅待機期間を経過するまで試合への参加を認めない。

- ※ 新型コロナウイルスの感染者が出た場合、「濃厚接触者」を決めるのは「所轄の保健所」であり、遅滞なく、正しい情報を提供すること。

※ 罹患者が発生した場合、本人が発症2日前から現時点までの行動歴を明らかにすることが重要である。試合に関わるすべての者は、試合が開始される2週間前からの健康観察を行うこと。

【大会中に関係者から感染者等が発生したときの対応】

関係機関と連携し、協議の上、対応する。その際、状況によっては大会を中止することもある。

【大会後に関係者から感染者等が発生したときの対応】

1 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかにその旨と濃厚接触者の有無を報告すること

○大会運営関係者、メディア関係者が感染した場合 **報告先** 徳島県ラグビー協会
なお、報告を受けた徳島県ラグビー協会は教育委員会とその報告に関する共有を行うこと。

○チーム関係者が感染した場合 **報告先** 当該者の所属する学校の責任教師
なお、報告を受けた当該校責任教師は、所属校並びに徳島県ラグビー協会へ報告すること。

また、報告を受けた所属校は徳島県教育委員会へ報告すること。

2 感染者が発生した場合、各校責任教師は、感染者を特定しようとすることやSNSで誤った情報を発信することのないように生徒に適切に指導すること。

【大会中止の要件】

- 1 緊急事態宣言が再発令された場合
- 2 四国各県教育委員会等により休校措置が講じられた場合
- 3 競技球場の使用制限等、関係諸機関の指示により試合実施が不可能となった場合
- 4 大会運営上に支障を来す事態が生じた場合

徳島県高体連ラグビー専門部

委員長 富加見泰輝

2022年4月21日